

令和 3 年度

児童生徒の生活習慣病予防対策

肥満・やせに関する統計の概要と考察

目 次

- 2 図 1 肥満児の割合（小学校）
- 4 図 2 肥満児の割合（中学校）
- 6 図 3 やせの割合（小学校）
- 8 図 4 やせの割合（中学校）
- 10 図 5 平成 30・令和元・3 年度の肥満児の
割合の比較（小 1～中 3・男女）
- 11 図 6 肥満児の本県と全国との比較（〃）
- 12 図 7 やせの本県と全国との比較（〃）
- 13 令和 3 年度 肥満調査の結果と考察

※図 1～図 4 は、各市町村の状況を教育事務所ごとにグラフ化した。

図1-1 肥満児の割合（水戸・小学校）

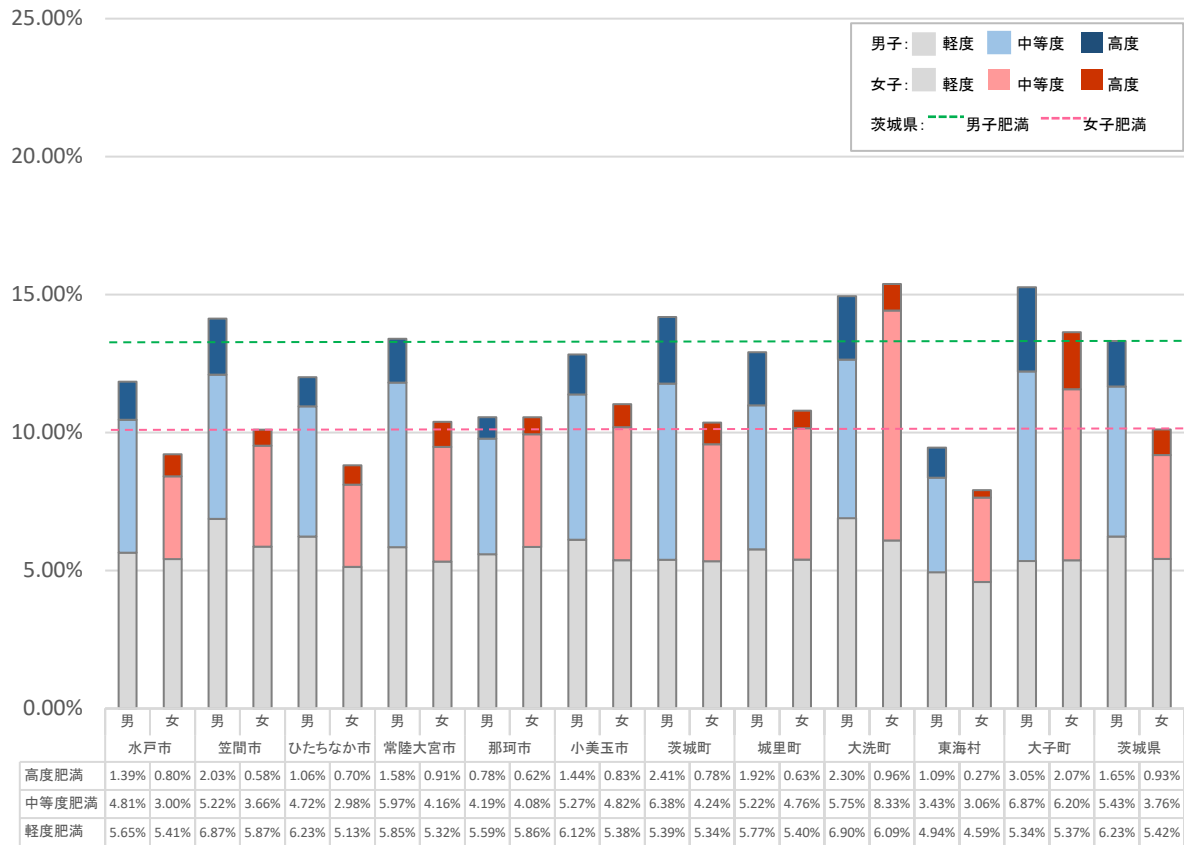


図1-2 肥満児の割合（県北・小学校）

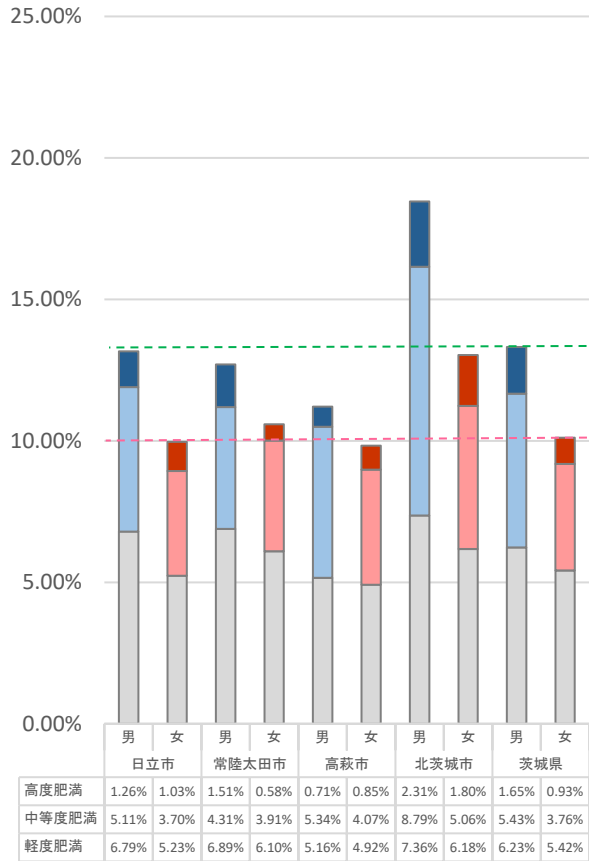


図1-3 肥満児の割合（鹿行・小学校）

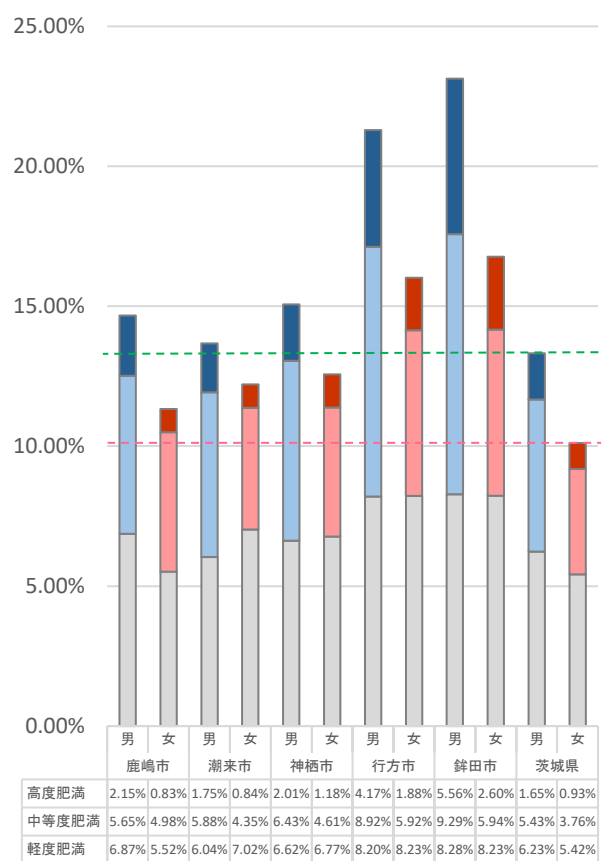


図1-4 肥満児の割合(県南・小学校)

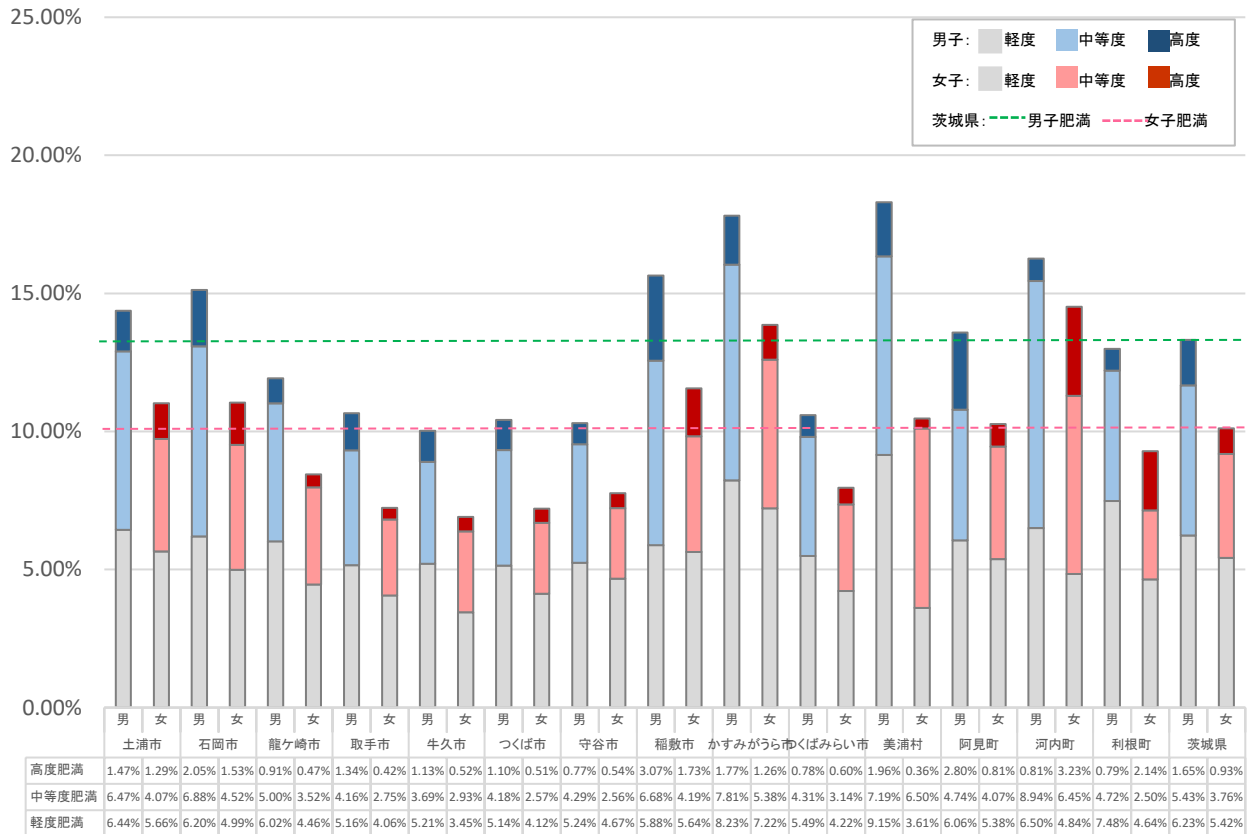


図1-5 肥満児の割合(県西・小学校)

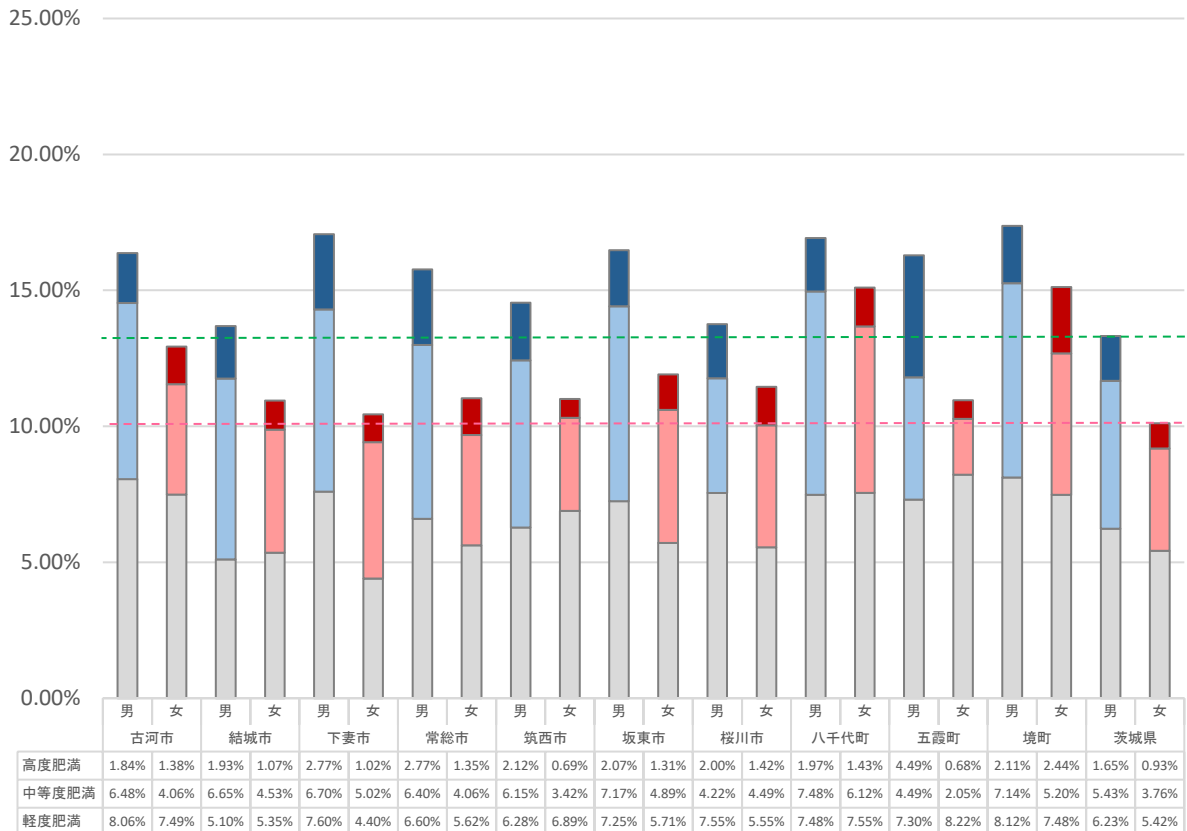


図2-1 肥満児の割合(水戸・中学校)

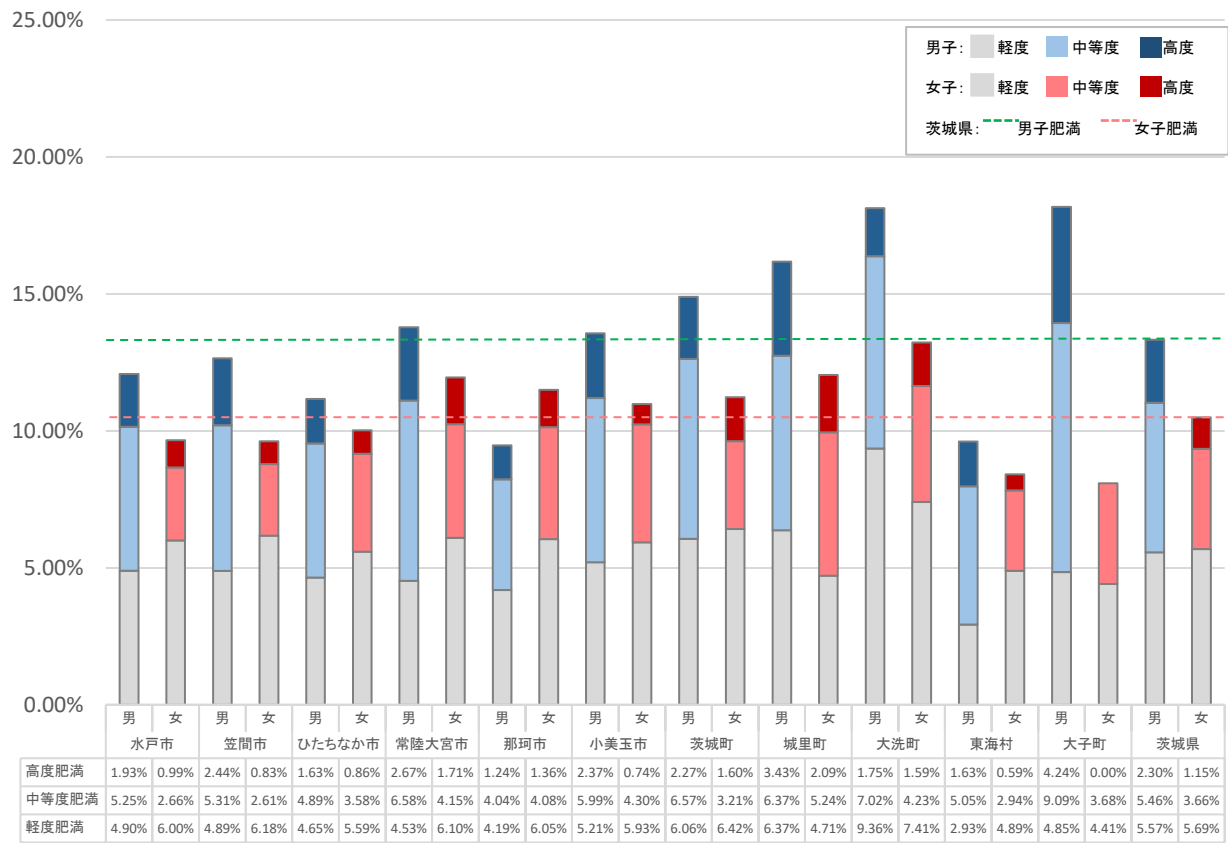


図2-2 肥満児の割合(県北・中学校)

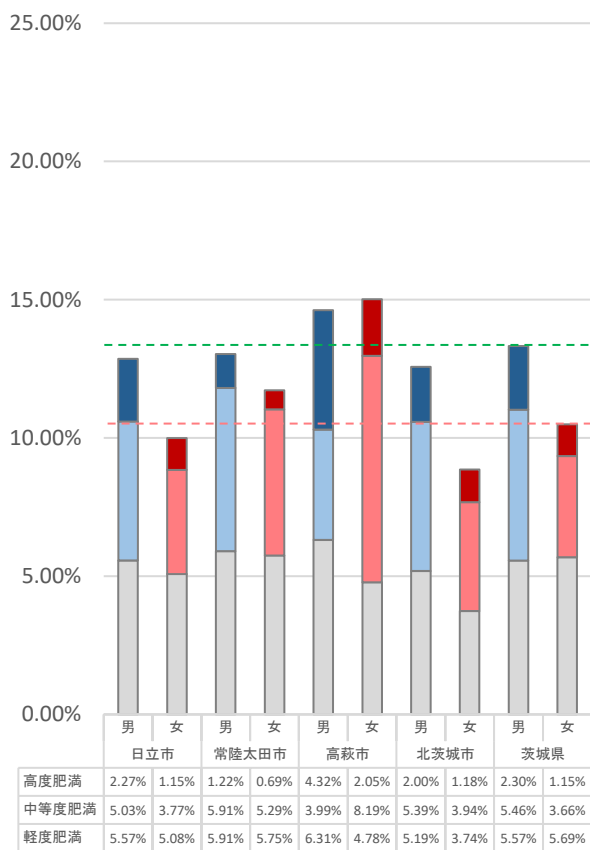


図2-3 肥満児の割合(鹿行・中学校)

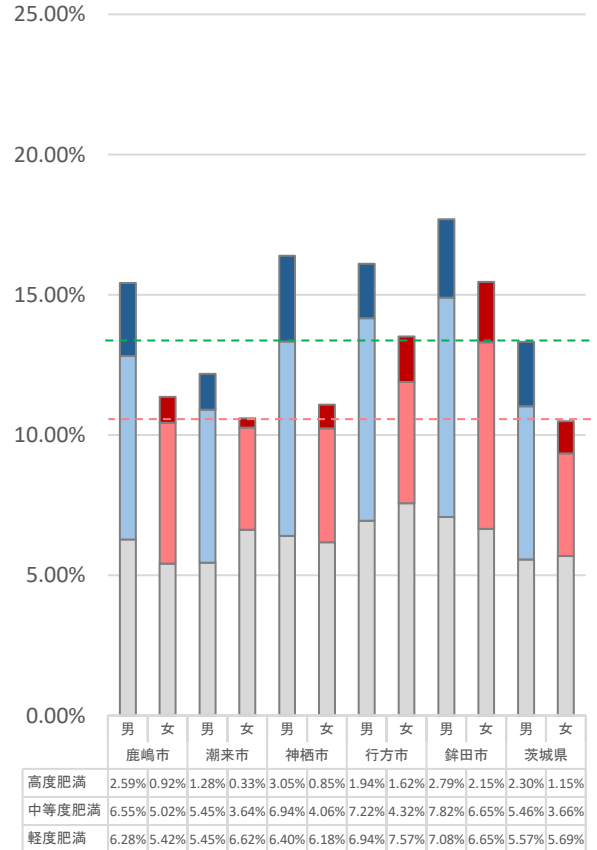


図2-4 肥満児の割合(県南・中学校)

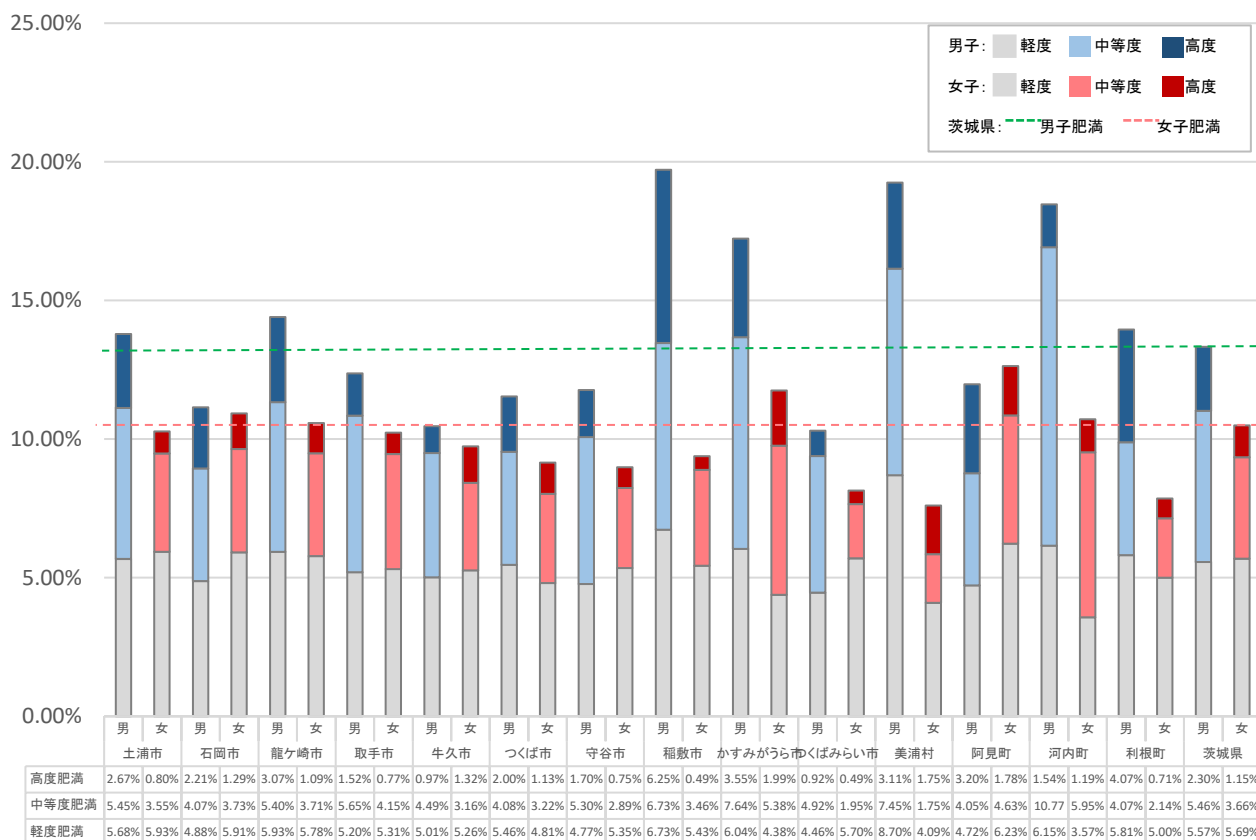


図2-5 肥満児の割合(県西・中学校)

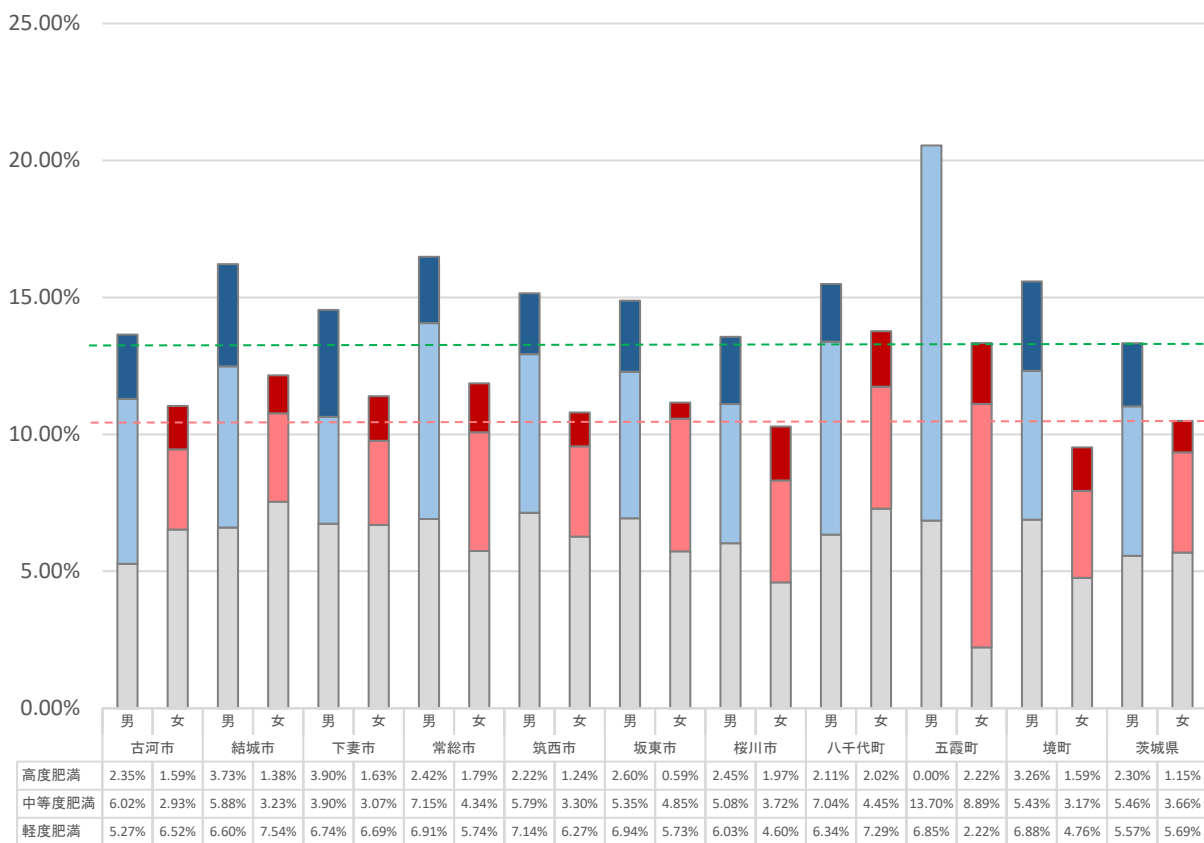


図3-1 やせの割合(水戸・小学校)

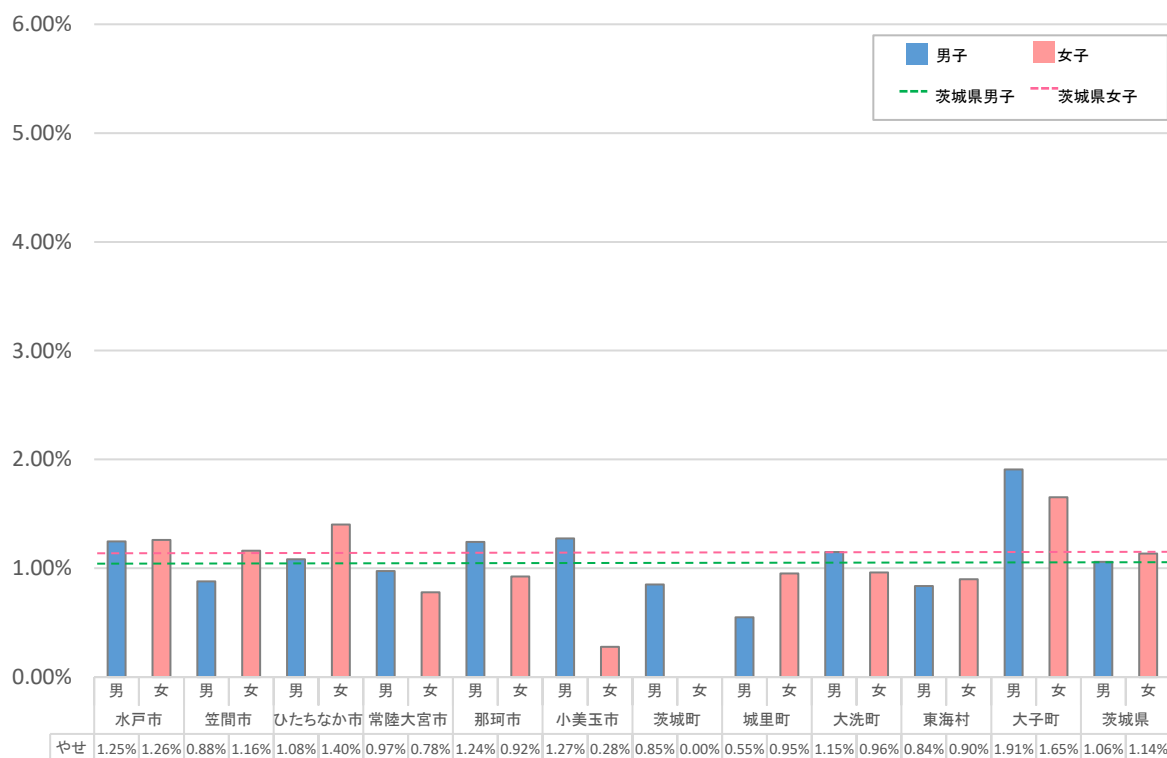


図3-2 やせの割合(県北・小学校)

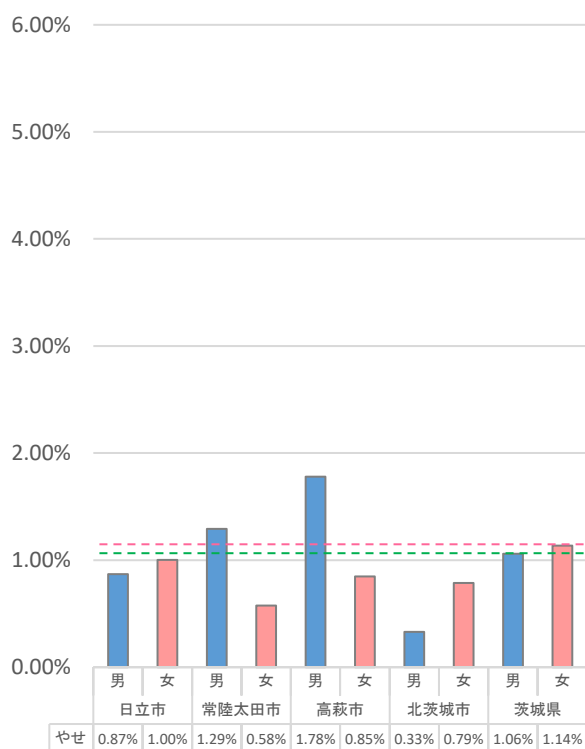


図3-3 やせの割合(鹿行・小学校)



図3-4 やせの割合(県南・小学校)

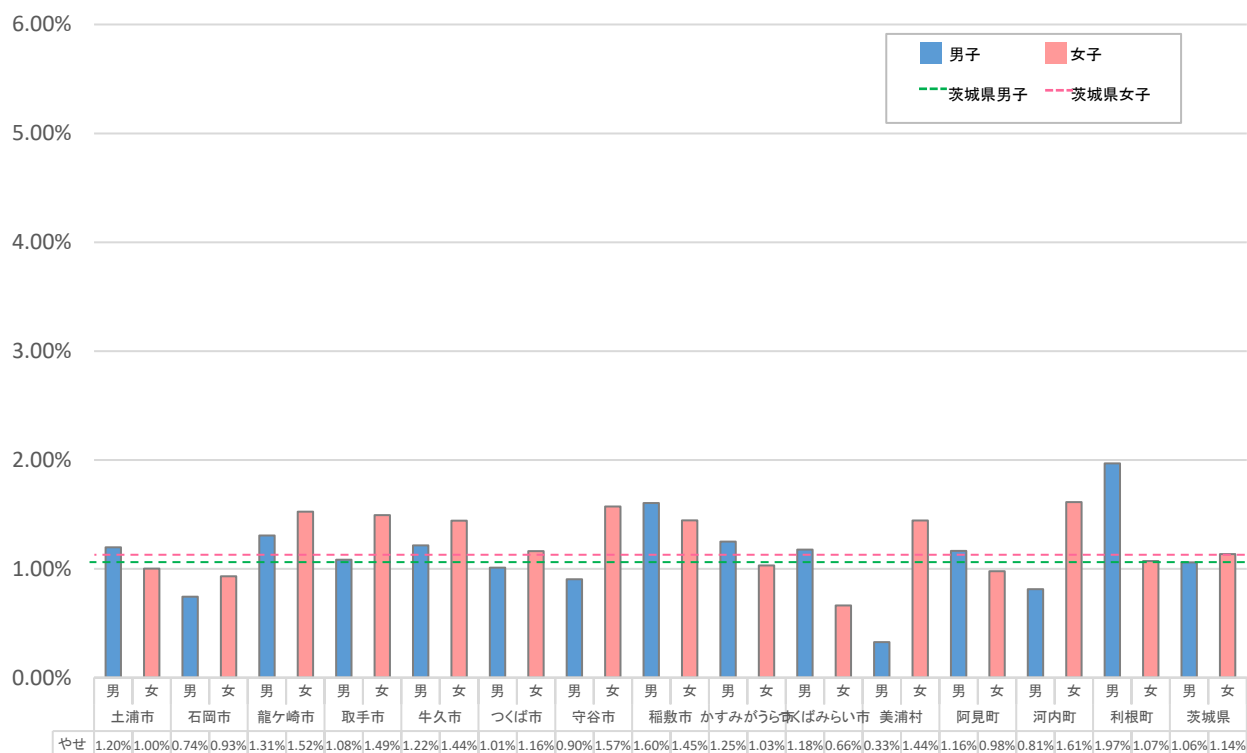


図3-5 やせの割合(県西・小学校)

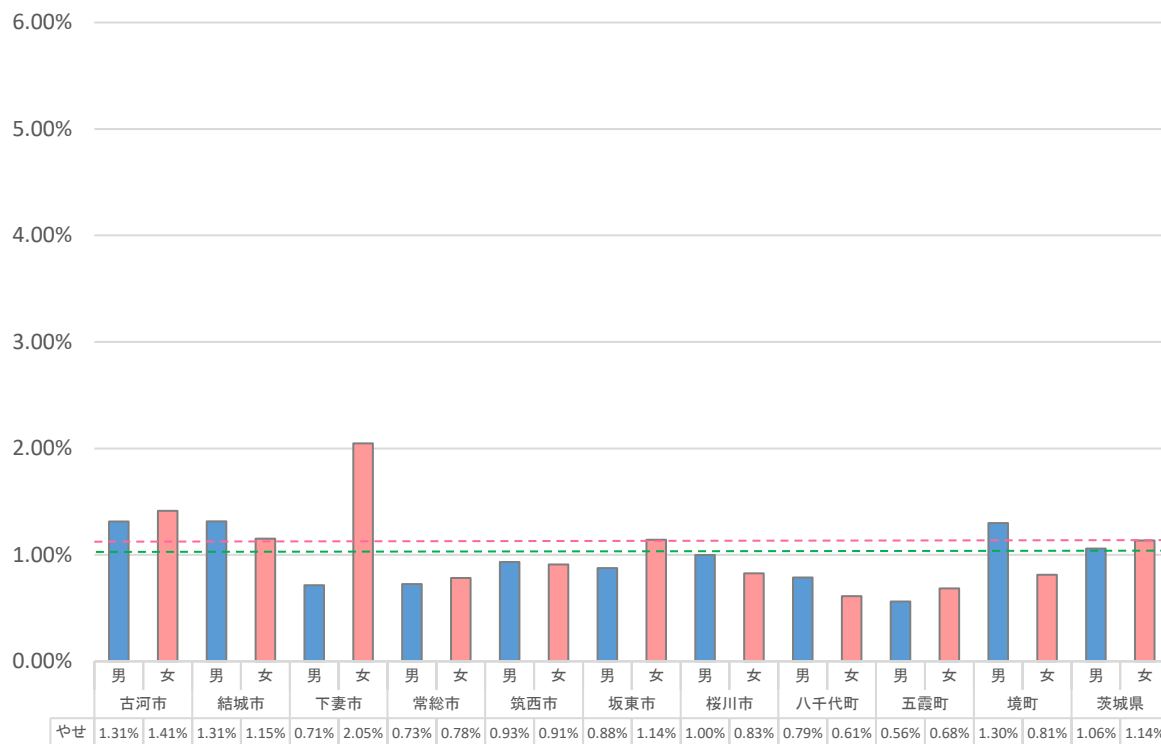


図4-1 やせの割合（水戸・中学校）

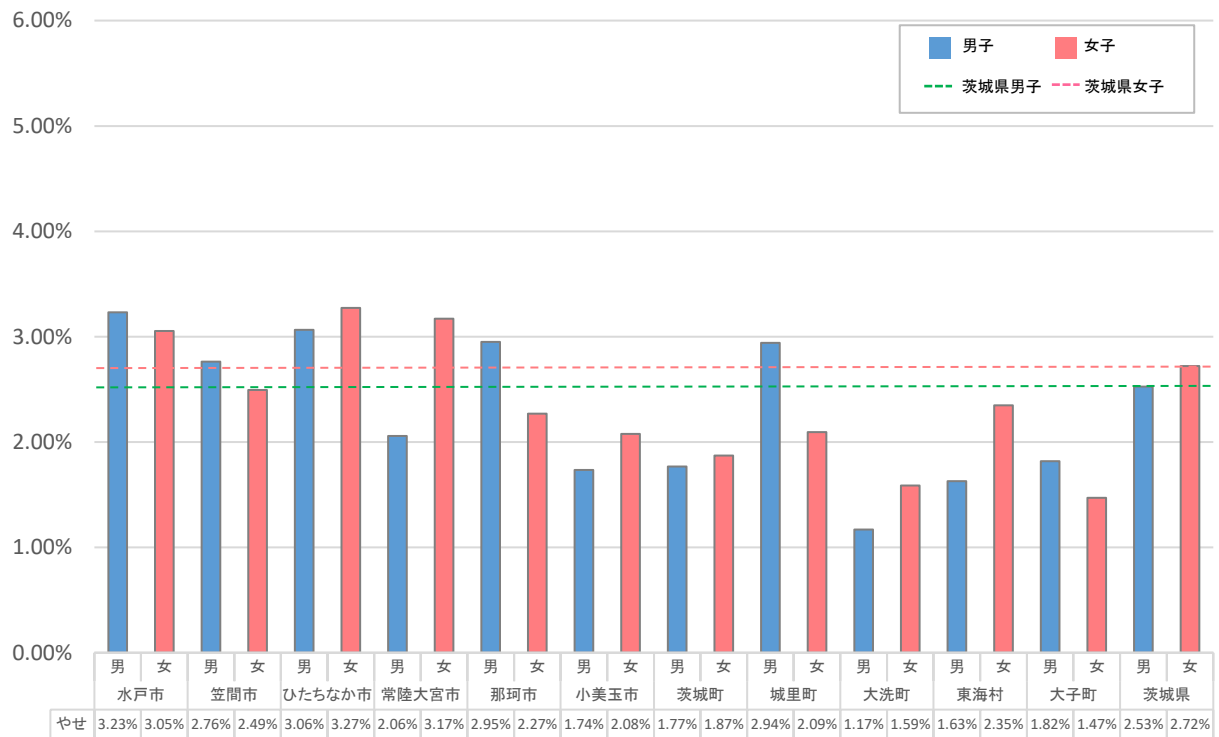


図4-2 やせの割合（県北・中学校）



図4-3 やせの割合（鹿行・中学校）

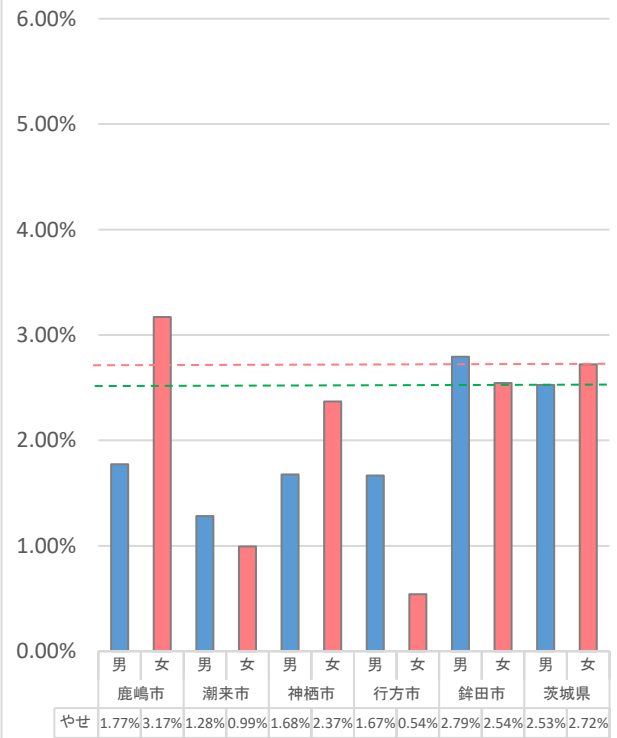


図4-4 やせの割合(県南・中学校)

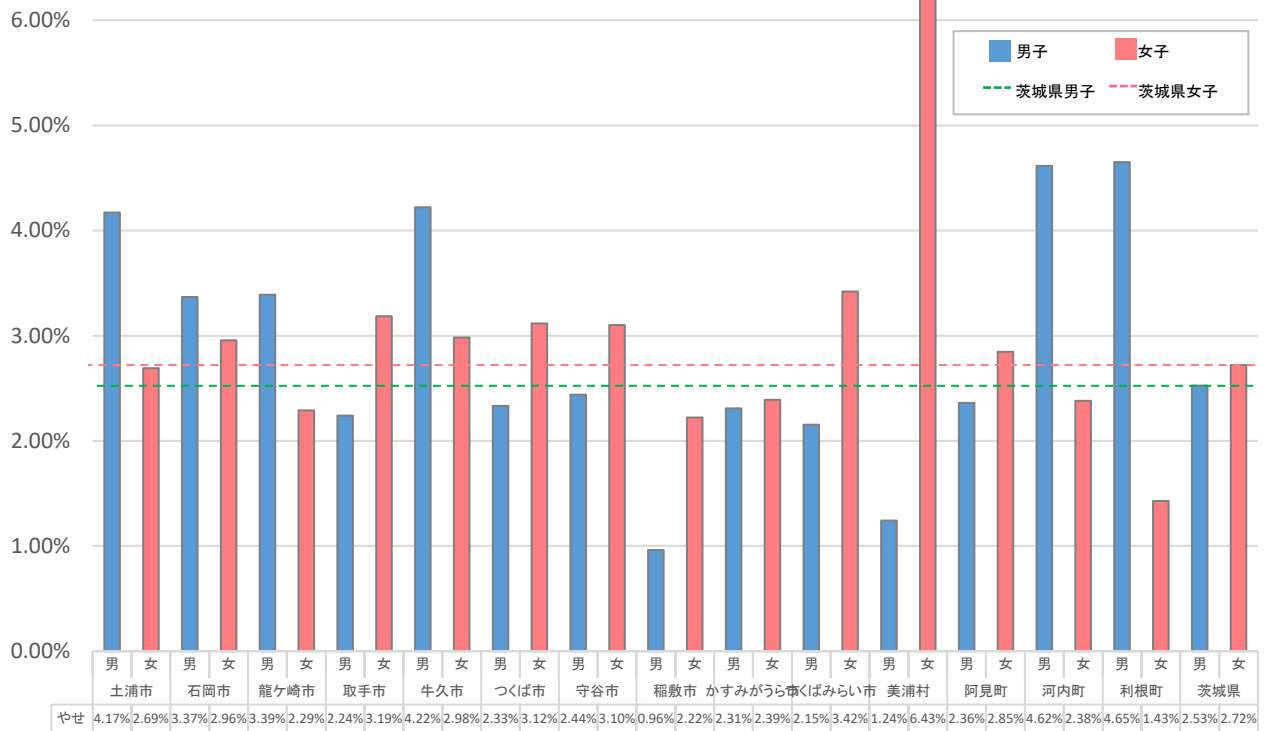


図4-5 やせの割合(県西・中学校)

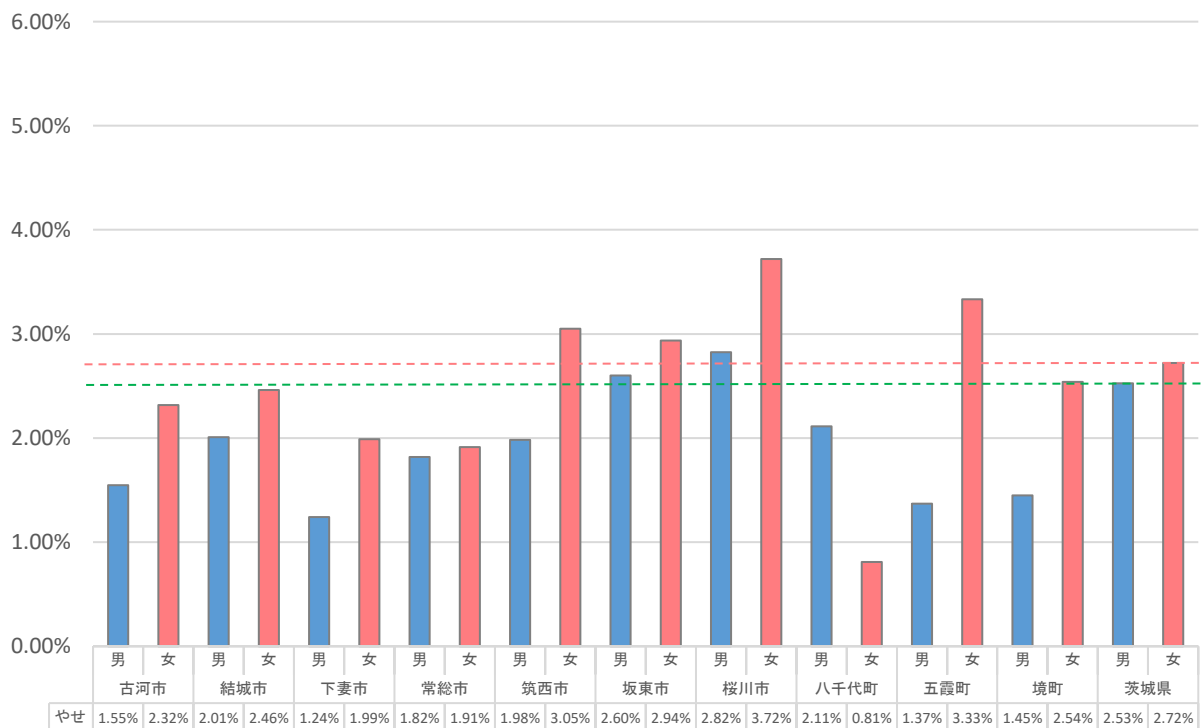


図5-1 H30・R1・R3の比較(男子)

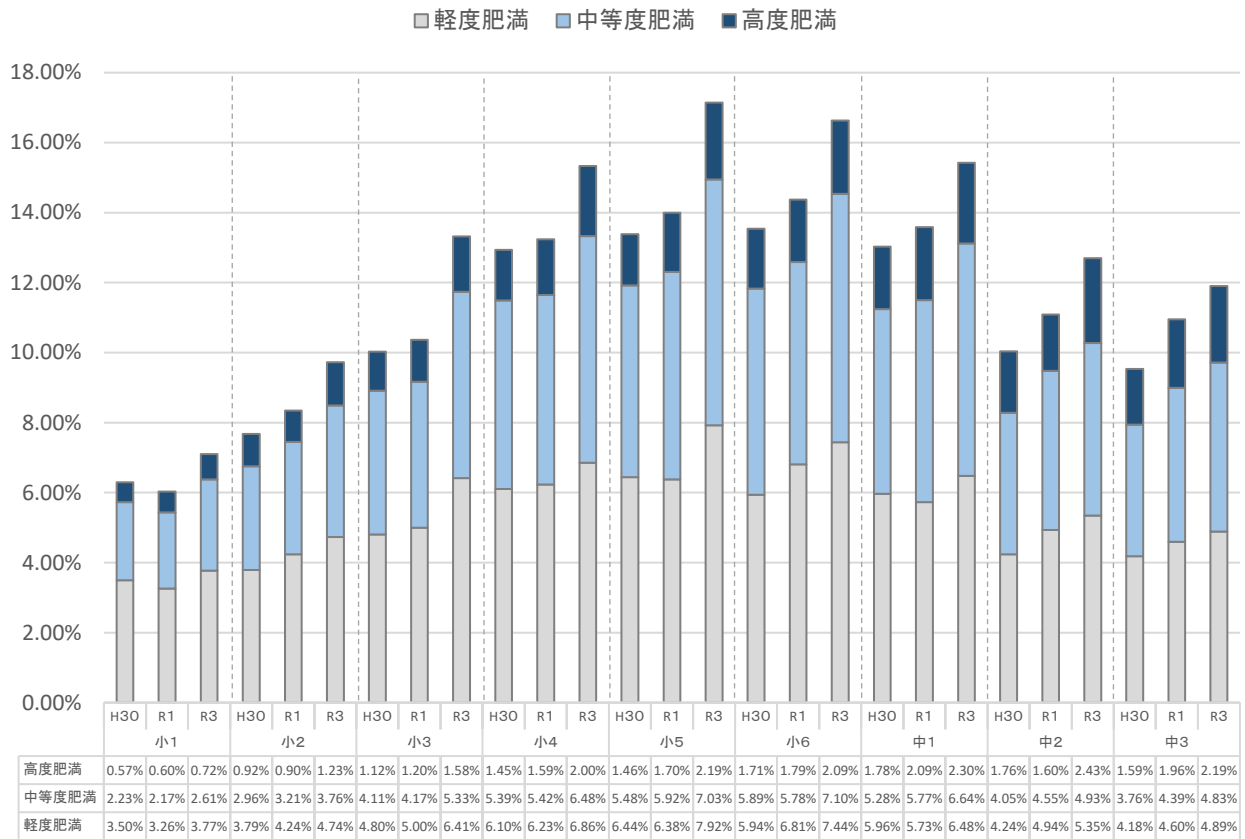


図5-2 H30・R1・R3の比較(女子)

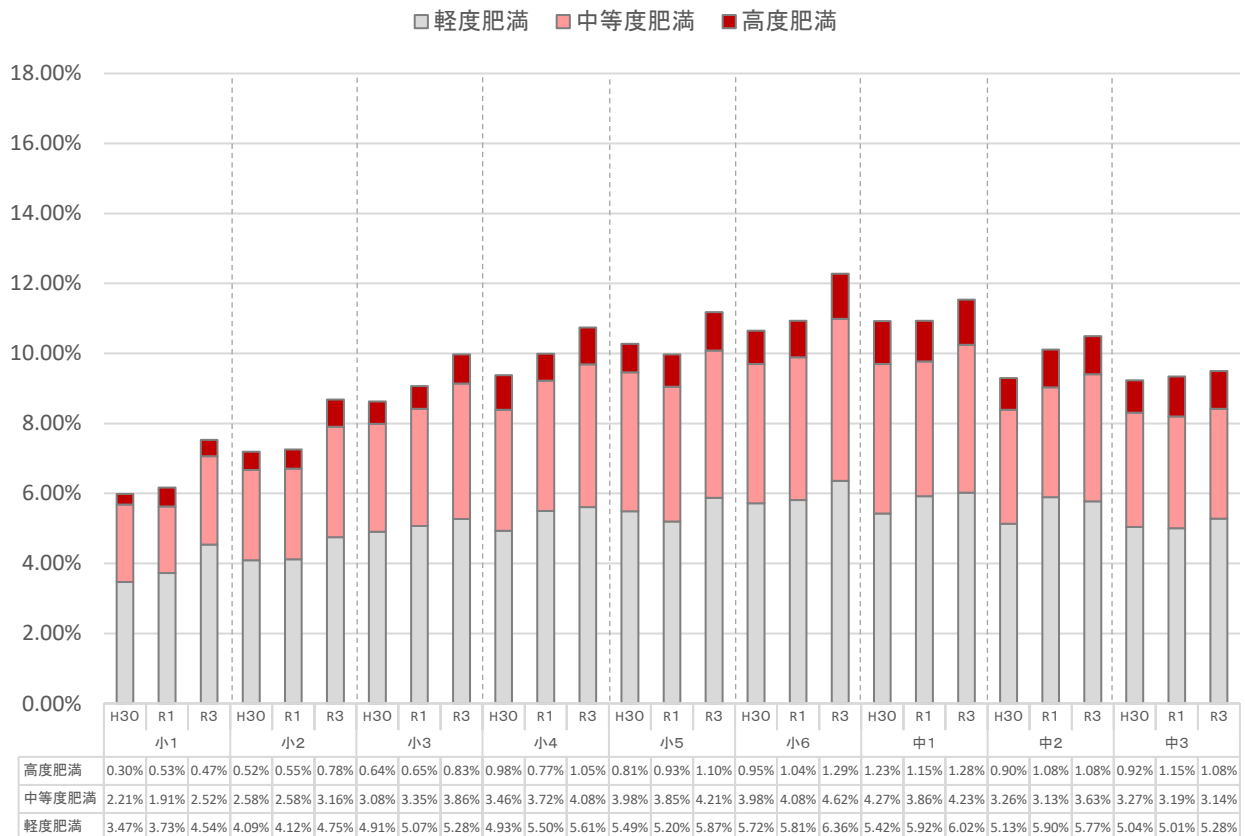


図6-1 肥満児の全国との比較(男子)

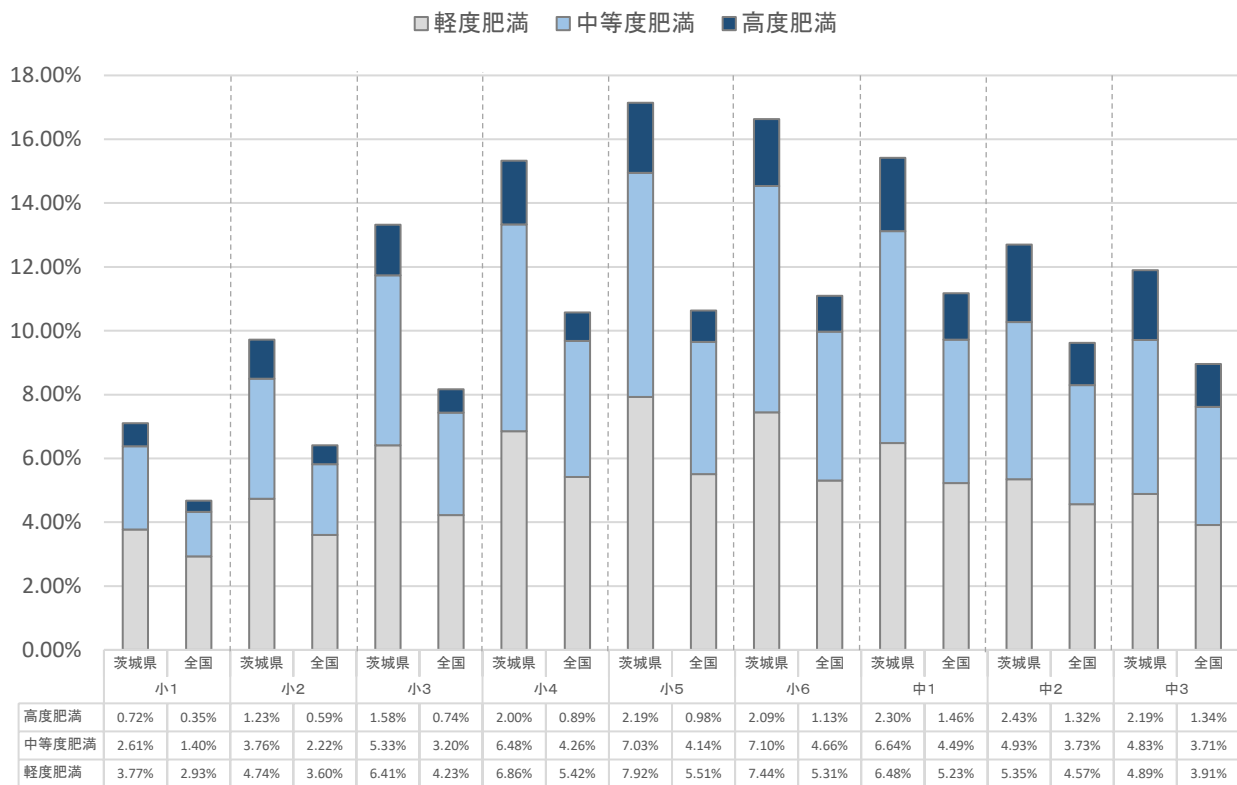
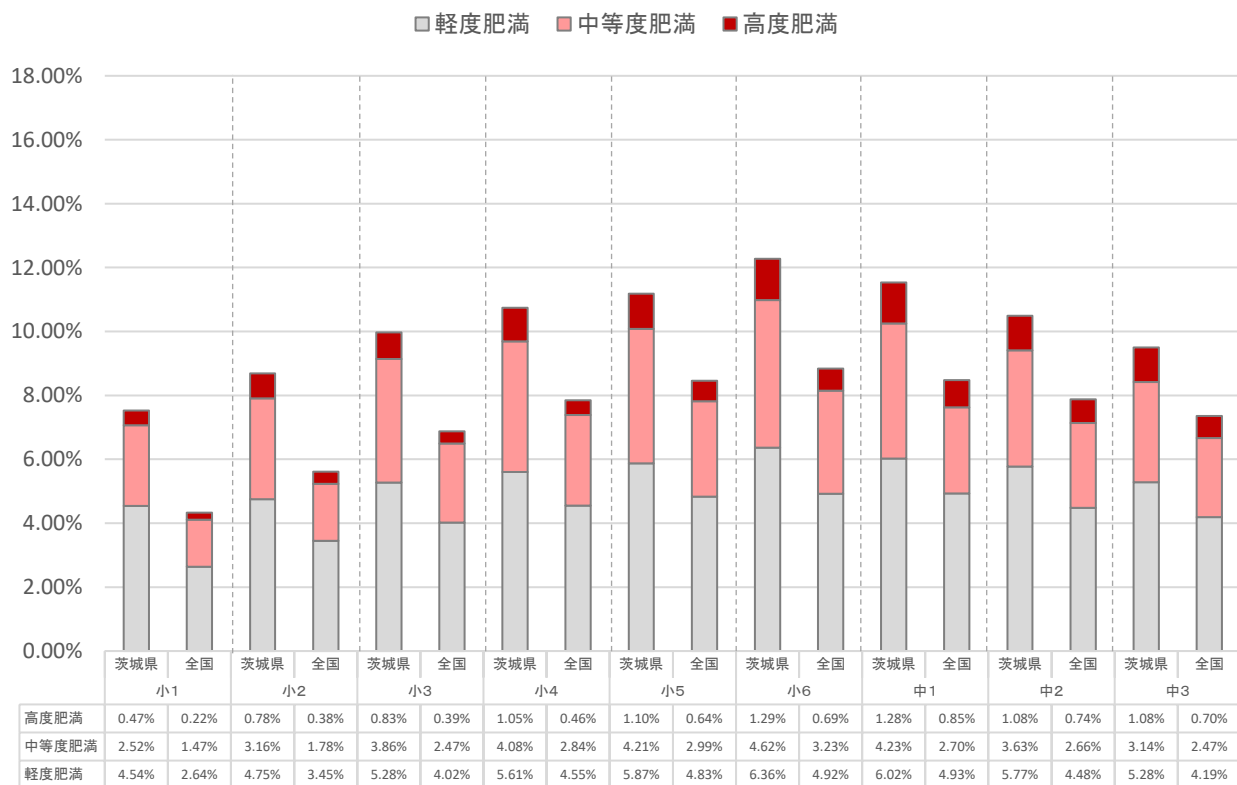


図6-2 肥満児の全国との比較(女子)



※ 全国値: 令和元年度文部科学省学校保健統計調査確定値

図7-1 やせの全国との比較(男子)

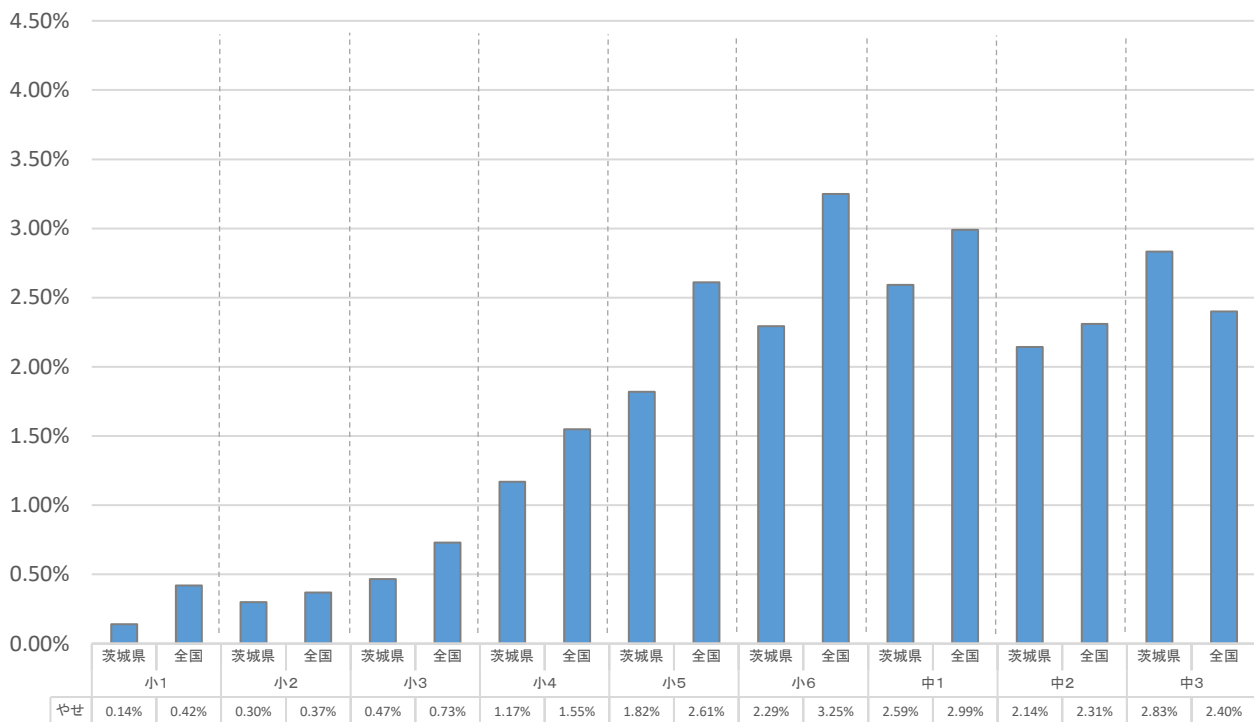
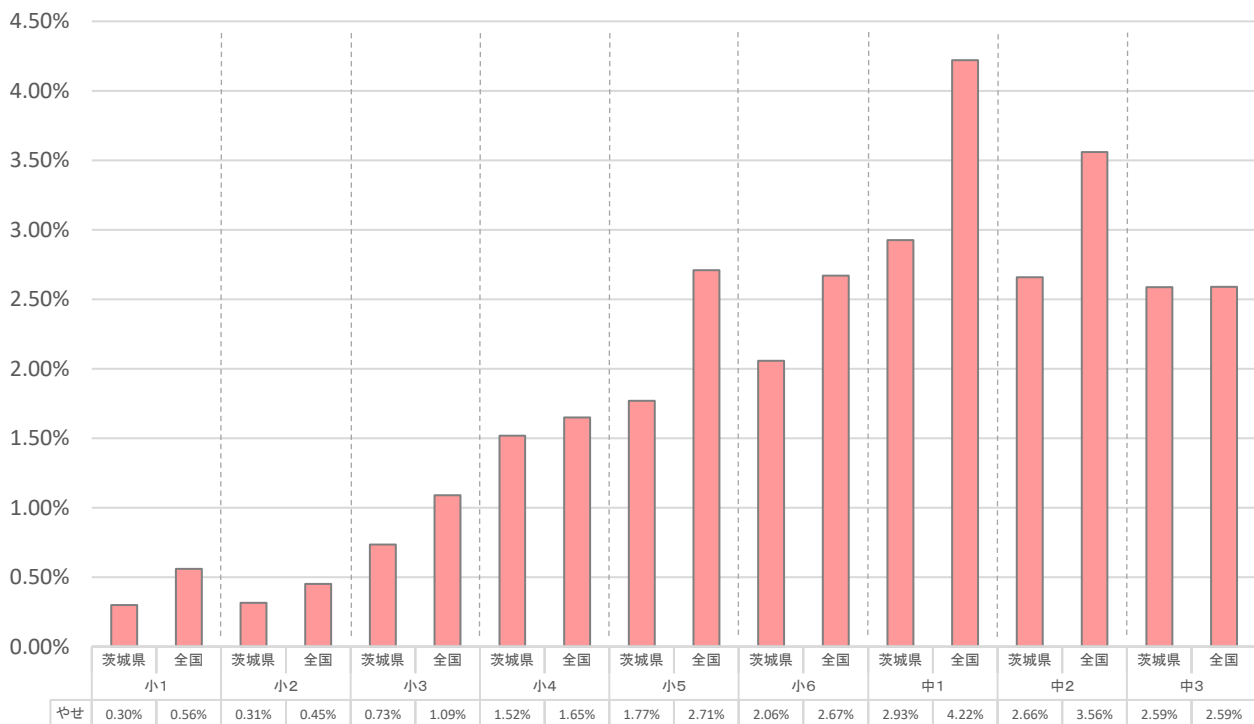


図7-2 やせの全国との比較(女子)



※ 全国値: 令和元年度文部科学省学校保健統計調査確定値

令和3年度 肥満調査の結果と考察

はじめに

平成14年度から行っている肥満調査（やせについては平成16年度から調査）を、茨城県学校保健会27全支部の協力を得て、県内の小学生138,104名、中学生69,095名、計207,199名を対象に実施し、その結果をまとめた。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各校での健康診断は例年通り実施するのが難しい状況だった。そのため、肥満統計調査も実施を見合わせたが、小委員会でこれまでの統計を見直す作業を進めた。検討の結果、**支部別にまとめていた統計を、今年度から市町村ごとにまとめることとした。**

図6・図7については、令和3年度文部科学省学校保健統計調査の速報値が年度内に公表されないことと、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う健康診断の実施時期の延長で、測定時期を異にしたデータを集計したものとなっているため、令和元年度の確定値と比較することとした。

図1 小学校の肥満児の割合

- ・県の肥満児の割合は、**男子13.32%**（軽度肥満6.23%、中等度肥満5.43%、高度肥満1.65%）、**女子10.11%**（軽度肥満5.42%、中等度肥満3.76%、高度肥満0.93%）である。
令和元年度（男子11.16%、女子8.94%）と比較すると、男女ともに肥満児の割合は増加している。
- ・男女を比較すると、男子の方が肥満児の割合は高く、軽度・中等度・高度肥満それぞれの割合も男子の方が高い。
- ・男子では、**県平均を上回っている市町村が28市町村あり、鹿行と県西はほとんどの市町村で県平均を上回っている。特に、行方市と鉾田市は20%を超えている。**
- ・女子では、**県平均を上回っている市町村が31市町村あり、男子と同様、鹿行と県西はほとんどの市町村で県平均を上回っている。特に、大洗町・行方市・鉾田市・八千代町・境町は15%を超えている。**

図2 中学校の肥満児の割合

- ・県の肥満児の割合は、**男子13.33%**（軽度肥満5.57%、中等度肥満5.46%、高度肥満2.30%）、**女子10.49%**（軽度肥満5.69%、中等度肥満3.66%、高度肥満1.15%）である。
令和元年度（男子11.88%、女子10.13%）と比較すると、男女ともに肥満児の割合は増加している。
- ・男女を比較すると、小学校同様、男子の方が肥満児の割合は高い。軽度肥満の割合だけ、男子5.57%、女子5.69%と男女に大きな差はない。
- ・男子では、**県平均を上回っている市町村が28市町村あり、小学校同様、鹿行と県西はほとんどの市町村で県平均を上回っている。特に、五霞町は高度肥満0%だが、軽度と中等**

度肥満の合計で 20%を超えている。

- ・女子では、県平均を上回っている市町村が 26 市町村あり、小学校同様、鹿行と県西はほとんどの市町村で県平均を上回っている。特に、高萩市と銚田市は 15%を超えている。

図3 小学校のやせの割合

- ・県のやせの割合は、男子 1.06%、女子 1.14%である。男女に大きな差はなく、令和元年度（男子 1.20%、女子 1.19%）より若干減少している。
- ・男子では、県平均を上回っている市町村が 21 市町村あり、県南に多く見られる。特に、大子町・高萩市・利根町は 2%に近い。
- ・女子では、県平均を上回っている市町村が 18 市町村あり、鹿行と県南では半数以上の市町村が県平均を上回っている。特に、下妻市は 2.05%である。

図4 中学校のやせの割合

- ・県のやせの割合は、男子 2.53%、女子 2.72%である。男女を比較すると、女子が男子より若干高い。
- 令和元年度（男子 2.53%、女子 2.94%）と比較すると、男子は同じで、女子は若干減少している。
- ・男子では、県平均を上回っている市町村が 15 市町村あり、特に土浦市・牛久市・河内町・利根町は 4%を超えている。
- ・女子では、県平均を上回っている市町村が 17 市町村あり、特に、美浦村は 6.43%とその割合が突出している。

図5 平成 30 年度・令和元年度・今年度の比較

- ・過去 2 年間の肥満児の割合と比較すると、男女ともに全ての学年で肥満児の割合が増加している。
- ・男子では小 5 をピークに、女子では小 6 をピークに、その後だんだん肥満児の割合が減少していくのは、毎年、変わらない傾向である。
- ・男女とも、小 1 より中 3 の肥満児の割合が高いのも同様の傾向である。

図6 肥満児の全国との比較

- ・男女とも、全ての学年で全国平均を上回っている。
- ・男子では、学年が上がるにつれて全国平均との差が大きくなるが、小 5 をピークに肥満児の割合は減少し、以降、全国平均との差も少しずつではあるが、小さくなっている。
- ・女子も、全国平均との差は大きいですが、小 6 をピークに肥満児の割合は減少し、以降、男子同様、全国平均との差も少しずつ小さくなっている。

図7 やせの全国との比較

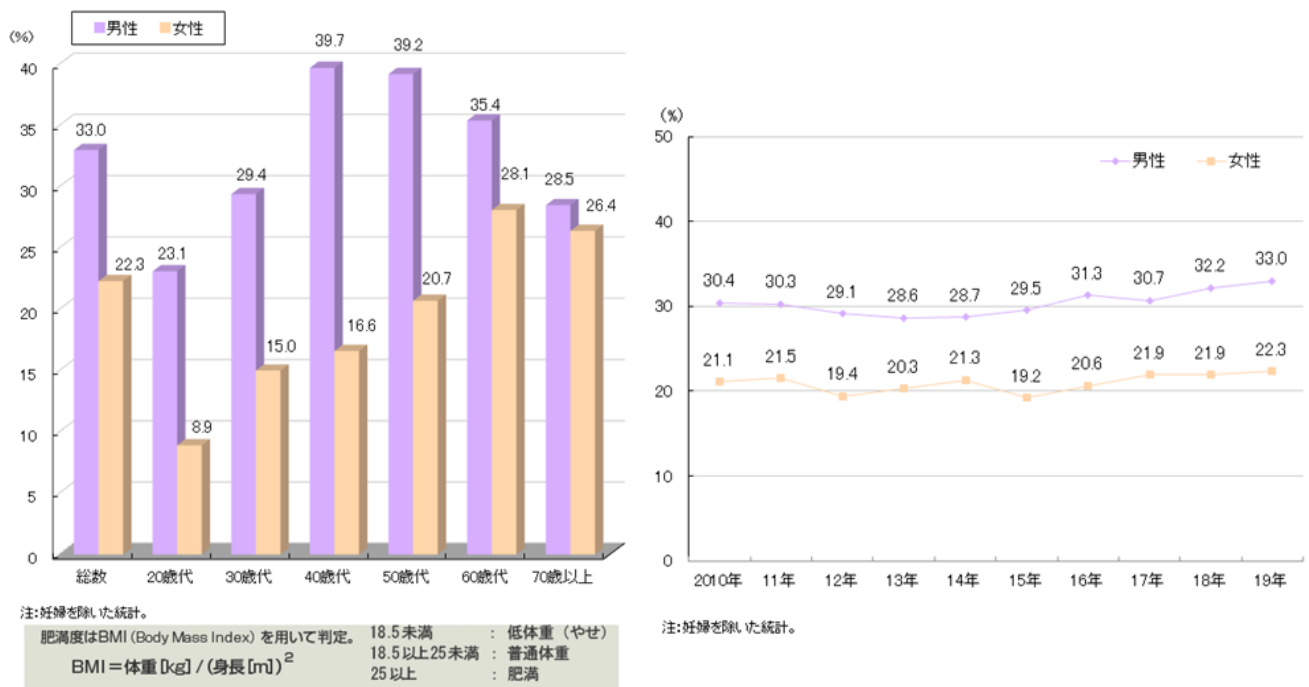
- ・男子では、小1から中2まで全国平均を下回っているが、中3のみ全国平均を上回っている。※
- ・女子でも、男子と同様の傾向がみられ、小1から中2まで全国平均を下回っているが、中3のみ全国平均と同じになる。ピークを示す中1以降のやせの割合の減少幅は、全国平均と比較して緩やかである。

※中3男子は、中1の時もやせの割合が多く（3.1%）、全国平均（2.8%）を上回っていた。

おわりに

厚生労働省「国民健康・栄養調査報告」／令和元年より

成人の肥満は、男性は40歳代まで、女性は60歳代まで増え続けていることが分かる。算出方法はBMIで、小中学生の肥満度とは異なっているが、成人男性の約3割、女性は約2割が肥満である。成人期を標準体重の範囲内で健康的に過ごすためにも、小中学生で身につけた生活習慣、特に食習慣は影響が大きく、児童生徒の生活習慣病予防対策は今後も重要である。



参考 <厚生労働省「国民健康・栄養調査報告」／令和元年> より